

HONDA
The Power of Dreams

PRESS INFORMATION
July 2009

FAAZE



本田技研工業株式会社
広報部

Honda は、1984年に軽二輪スクーター「スペイシー 250 フリーウエイ」を発売し、250ccの大型スクーターという新しいカテゴリーを提案しました。市街地での使い勝手にすぐれたコンパクトな車体と力強い出力特性のエンジンは、高い機動性を発揮し、利便性の高さから幅広い人達に支持されました。以降、1986年にはツーリングユースに適した「フュージョン」を発売。**Honda**の軽二輪スクーターは、特徴の異なる2車種のラインアップによって、多くのお客様に大型スクーターの魅力伝えてまいりました。その後も市場の変化やお客様のニーズを反映し、1997年には「フォーサイト」を、2000年には「フォルツァ」を、2004年には「PS250」を発売してまいりました。

そして今回、成熟された軽二輪スクーターカテゴリーに、新たな価値観を提案する「フェイズ」を新発売いたします。フェイズ (FAZE) のネーミングは、「心を騒がせる」「驚かせる」という意味です。スクーターの世界に新たな感動を提供したいとの思いを込めたものです。

新設計の軽量・コンパクトな車体に、力強く環境性能にも優れた定評の Evolver-4V エンジンを搭載し、市街地から郊外まで快適で俊敏な走りを実現しています。斬新でスポーティーなスタイリングは、お客様の所有感を高めるとともに、スクーターに新しい価値観を提案いたします。

Hondaの軽二輪スクーターは、「フォルツァ」と「フェイズ」の2車種のラインアップで、より多くのお客様の要望に応じてまいります。



フェイズの開発コンセプトは「My Personal Comfortable Mover」
「街中をより俊敏に移動するために最適なスクーター」という意味をこめました。

初めて軽二輪の 250cc スクーターを購入される 20 代から、代替えを検討されている 30～40 代の幅広いお客様に向け、特に市街地での使い勝手向上を狙い、「ポテンシャルの高いエンジンと軽量コンパクトな車体による高い機動力」を目指して開発されました。

製品の特徴は—

- ◆国内 250cc スクータークラスでトップレベルの加速性能
- ◆国内 250cc スクータークラス最軽量、180kg の車重と良好な取り回し
- ◆市街地での使用を重視し、爽快な視認性を得られるアップライトなライディングポジションと良好な足着き性の確保
- ◆コンパクトでスポーティーなスタイリング

また、国内 250cc スクータートップクラスの低燃費や排出ガス規制対応等、経済性や環境性能も備えております。

Honda はフェイズの発売によって、好評を博しているフォルツァシリーズと合わせ、250cc スクーターの選択肢を拡げます。



スタイリング

スタイリングテーマは「Compact & Dominate」(コンパクトでありながら存在感を放つ)であり、従来のビッグスクーターとは違ったアプローチで、新しい感覚のフォルムを作り上げました。



エクステリア

エクステリアはコンパクトさとスポーティーさの表現に重点を置きました。

フロントボディーとリアボディーを凝縮した立体として、ライダーが跨る部分を大胆にくびれさせることにより、可能な限り車体をコンパクトにまとめました。ボディーサイドには車体前後に走る大胆なキャラクターラインを入れ、ボディーを上下に分けて見せることにより軽快感を演出しています。

エッジを効かせたキレのある造形を効果的に取り入れ、既存の流麗な面で構成されたビッグスクーターのスタイリングとは異なる価値観を表現しました。

55wのヘッドライトを持つ、コンパクトにまとめたフロントマスクには、垂直方向の流れを感じさせる鋭い表情を持たせ、独自の存在感を表現しました。

新設計のテールランプも、シンプルかつ特徴的な形状としながら十分な配光性能を有し、被視認性にも優れています。



インテリア

インテリアは、ボディーカラーに挟まれた「メーターパネルからシート後端にかけての cockpit 部」を黒で統一し、タイトなスポーティーさを演出しています。メーターは中央にタコメーターを配し、軽快な走りの期待感を演出しています。スピードメーターは大型の液晶パネルを採用することで良好な視認性を確保しながら、メーター全体のコンパクト化を実現しました。さらに燃料計や時計、オド・トリップメーターといった機能も装備しています。

また、アップライトなライディングポジションをサポートするシートを、スリムかつ小型化することにより軽快感と良好な足着き性を与えています。



カラーリング

フェイズは、オーナーの個性を主張できる3色のカラーバリエーションを用意しました。

爽快さを演出するブルーメタリックと高い質感を演出するパールホワイトの2種類の主体色には、フロアスカート、ボディーカバーにグレーメタリックを採用しました。大胆なツートーンの構成とすることで、スタイリングのテーマでもあるコンパクト感とスポーティー感を表現しています。

グラファイトブラックの主体色では、フロアスカート、ボディーカバーも同色とすることでスパルタンなイメージを表現しています。

ホイール色はマットレイシルバーとし、ダークな色で足回りを引き締めています。

●パールサンビームホワイト (ABS搭載車)



●パールサンビームホワイト



●グラファイトブラック



●グリントウェーブブルーメタリック



フェイズにはフォルツァと同じ、バルンサー付き水冷4ストロークOHC4バルブ単気筒エンジンが搭載されます。このエンジンは、環境性能と動力性能を高次元で両立させた高性能なパワーユニットです。

フェイズでは、フォルツァで好評を得ているスロットルのリニアリティと加速フィーリングの良さを引き継ぎ、「My Personal Comfortable Mover」のコンセプトに合わせ、出力の向上を狙い2つの変更を行ないました。

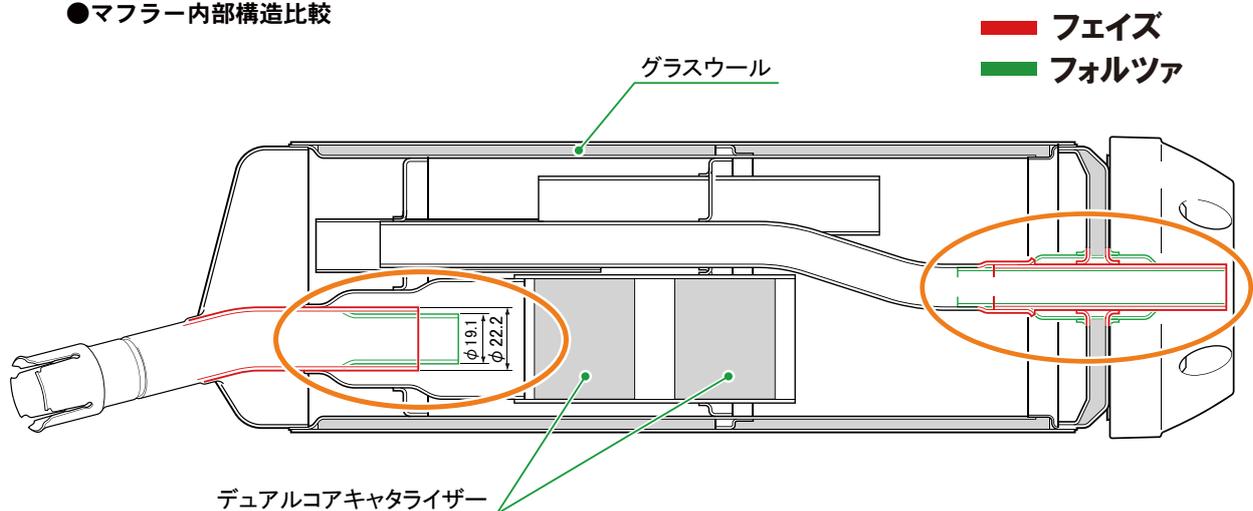
- ◆ACGの出力を最適化することによるフリクションの低減
- ◆マフラー内部のパイプサイズ変更（Φ19.1mm→Φ22.2mm）による排気抵抗の低減

これらの変更により、最高出力の1kW向上と最大トルクの1N・mの向上を果たしました。このパワーユニットを軽量な車体と組み合わせることにより、カテゴリトップクラスの加速性能と低燃費41km/ℓ(60km/h定地走行テスト値)を実現しています。

●パワーユニット



●マフラー内部構造比較

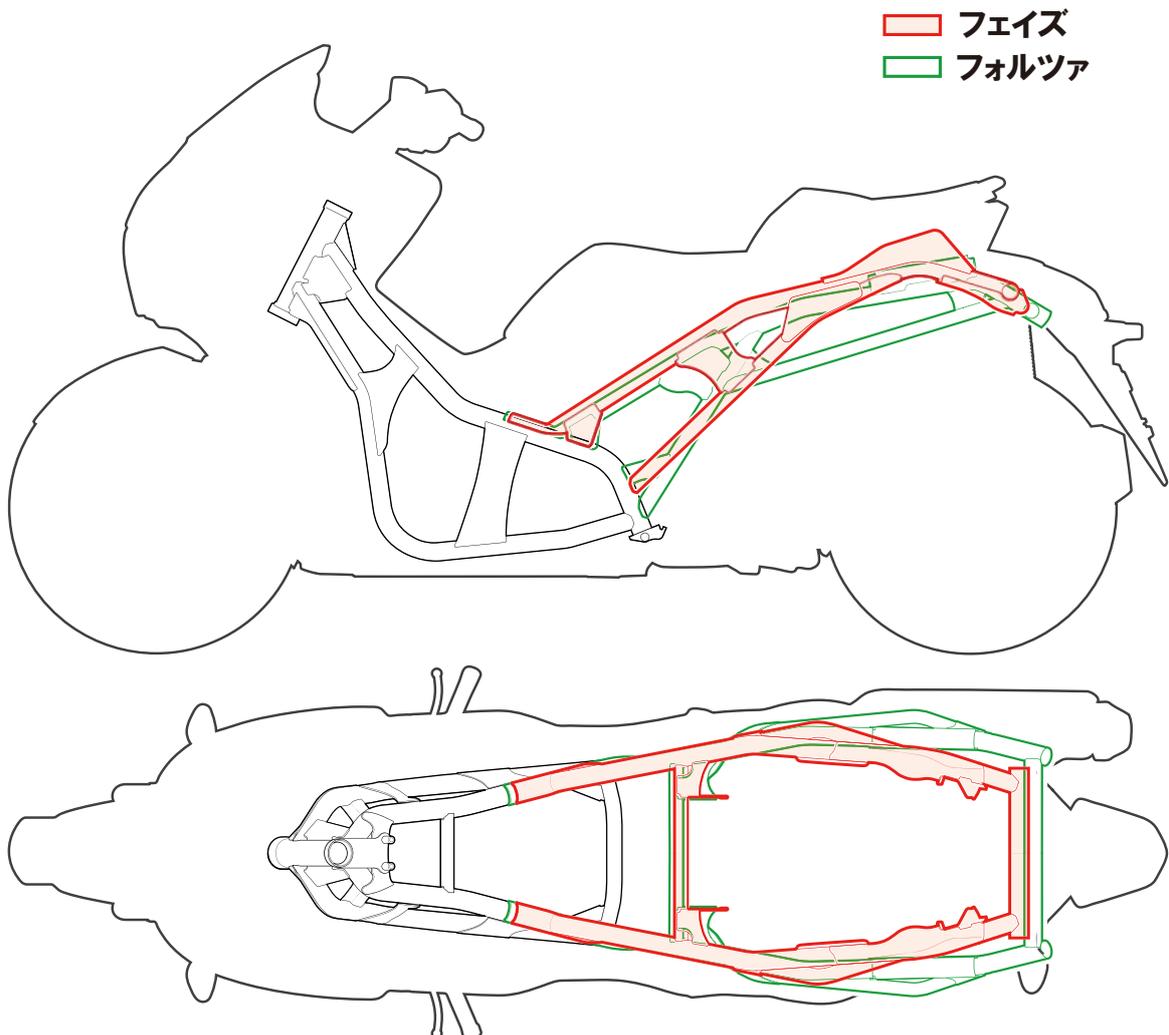


フレームボディー

フェイスのフレームボディーは、ベースとしたフォルツァと同様、高張力鋼管を採用したバックボーンタイプとしています。より俊敏な特性を狙いとして、フレームピボット回りを中心に剛性バランスの最適化をはかりました。具体的には、縦剛性値をフォルツァ比+14%とすることでブレーキング時の安定性と車体倒し込み時の軽快感を獲得、横剛性値はフォルツァ比-20%とし、ギャップ乗り越え時などの安定性を向上させることで、軽快な操縦性と安定性の両立を実現しました。また、幅方向を絞り込んだフレーム構成はコンパクトでスポーティーなリアボディーを可能としました。



●フレーム比較図



車体サイズ

街中での扱いやすさを狙って、大胆に車体のコンパクト化と軽量化をはかるため、ボディーパーツのダウンサイジングと構成のシンプル化を実施しました。

主要な項目はー

- ◆マルチリフレクタータイプ1灯式ヘッドライト
- ◆シンプルな1灯式テールランプ
- ◆左右分割タイプ樹脂製リアグリップ

いずれも、必要十分な機能を持たせながらコンパクトに造り込むことによって、装備重量180kg(ABS装備車 183kg)を達成しました。これにより、フェイズは国内の現行市販250ccスクーターにおいて最軽量モデルとなります。

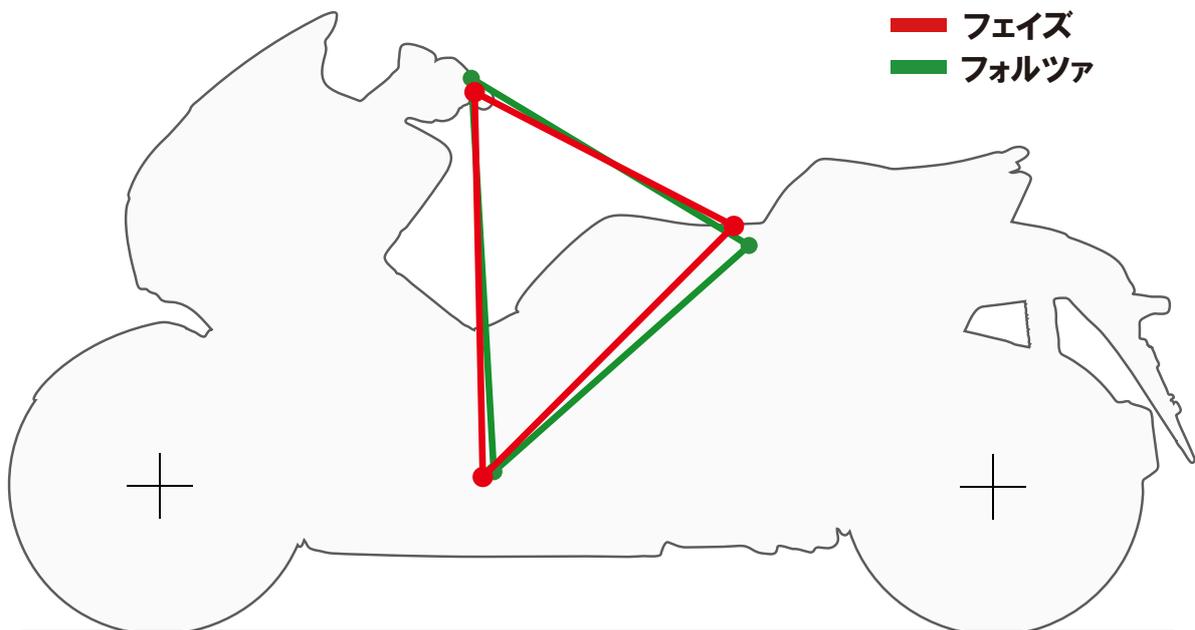


ライディングポジション

フェイズのライディングポジションは、アップライトなポジションとすることで重心位置を上げ、軽快な操縦性と、シティーユースでのより良好な視界を得られるよう配慮されております。

また、シート高を従来スクーターより高く設定しながらも、安心の足着き性を確保するため、ライダーシートとフロアステップの幅を絞り込んだ形状としています。さらにライダーとパッセンジャーのシート段差を少なくし、2人乗り時の一体感を高めることで、パッセンジャーの安心感向上を図りました。

●ライディングポジション比較



メインスタンド

軽量ボディーの効果はメインスタンドの操作性にも表れています。メインスタンドはフォルツァと共用としながらも、リア回りの重量減により、スタンドを掛ける際に必要なグリップ荷重は半減され、男女を問わず楽に操作できる軽さで取り回し性向上に寄与しています。

足回り

前・後 13 インチタイヤとロングストロークのサスペンションの組み合わせはフォルツァ同様に高いギャップ走破性と高い走行安定性を確保しています。フェイズでは街中をよりキビキビ走れるよう、車体倒し込み時の軽快な操縦性を狙い、キャスト角をフォルツァの 27° から 26.5° へと変更しセッティングの見直しを図りました。



ラゲージスペース

フル開閉のシート下ラゲージスペースは50ℓ※の容量を確保。フルフェイスヘルメットを1個収納しながら、レインウェアやグローブといった小物類も楽々収納可能です。また、シート下全体をラゲージスペースとすることで960mmまでの長尺物の収納を可能とし、さらに通勤ユースにも考慮しA4サイズのソフトケースも収納可能としました。 ※Honda 調べ



フロントコンソールボックス

ハンドル下の左右パネルにはワンプッシュで開閉可能な、3ℓ※の容量のコンソールボックスを装備しました。350mlのペットボトルならそれぞれ4本収納可能で、シンプルな構造ながら利便性の高い仕様となっています。また、左側のボックスには施錠機能を付加し、ユーザーの安心感を高めました。 ※Honda 調べ



ヘルメットホルダー

収納スペースを有効に活用する為に、ヘルメットを2個装着することのできるホルダーを装備しました。ちょっとしたツーリングやタンデム時など、荷物が増えるシチュエーションで活躍します。



コンビブレーキシステム

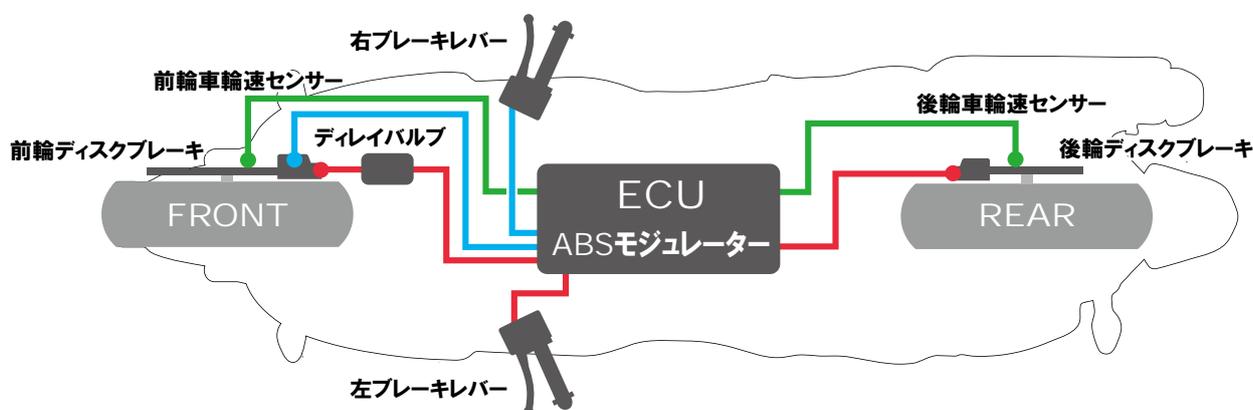
コンビブレーキシステム（前・後輪連動ブレーキシステム）は、左ブレーキレバーを握るだけで前後の制動力を適切に配分し、バランスの取れたブレーキングが可能となります。フェイズはこのコンビブレーキを標準装備しています。

また、Honda 独自のブレーキシステムであるコンバインド ABS 搭載車をタイプ設定しました。コンバインド ABS により、急制動や雨天時などの滑りやすい路面状況でも過度の緊張から開放され、簡単な操作で確実なブレーキを掛けることができます。

*コンビブレーキシステムは、あくまでもブレーキ操作を補助するためのシステムであり、左右のブレーキレバーを同時に操作することが、ブレーキングの基本です。

*ABS は制動距離を短縮するためのシステムではありません。ABS はあくまでもライダーのブレーキ操作を補助するシステムです。したがって、ABS が無い車両と同様に、コーナー等の手前では十分な減速が必要であり、無理な運転までは制御できません。

●フェイズ ABSブレーキシステム概念図



可倒式ピリオンステップ

フェイズのピリオンステップは、取り回し性向上につながる車体のスリム化と、パッセンジャーのホールド性向上を狙い可倒式を採用しています。これにより、フロア形状を絞り込むことが出来、ライダーが安心な足着き性を確保しました。



リアグリップ

樹脂性のコンパクトな左右独立タイプで構成し、モーターサイクル的なイメージを演出するとともに、パッセンジャーの握りやすさとメインスタンドの操作性を考慮した最適な位置に配置しています。



主要諸元



機種	フェイズ	
車名・型式	ホンダ・JBK-MF11	
全長(m)	2.180	
全幅(m)	0.750	
全高(m)	1.150	
軸距(m)	1.540	
最低地上高(m)	0.130	
シート高(m)	0.755	
車両重量(kg)	180【183】	
乗車定員(人)	2	
燃料消費率(km/ℓ)	41.0(60km/h定地走行テスト値)	
最小回転半径(m)	2.6	
エンジン型式	MF11E	
エンジン種類	水冷4ストロークOHC4バルブ単気筒	
総排気量(cm ³)	248	
内径×行程(mm)	68.0×68.5	
圧縮比	10.2	
最高出力(kW[PS]/rpm)	17[23]/7,500	
最大トルク(N・m[kg・m]/rpm)	23[2.3]/6,000	
燃料供給装置形式	電子式<電子制御燃料噴射式(PGM-FI)>	
始動方式	セルフ式	
点火装置形式	フルトランジスタ式バッテリー点火	
燃料タンク容量(ℓ)	12	
変速機形式	無段変速式(Vマチック)	
タイヤ	前	110/90-13M/C 55P
	後	140/70-13M/C 61P
ブレーキ形式	前	油圧式ディスク
	後	油圧式ディスク
懸架方式	前	テレスコピック式
	後	ユニットスイング式
フレーム形式	バックボーン	

■製造事業者／本田技研工業株式会社

【 】内は、ABS仕様